

長浜市雪寒体制のあり方懇話会 第1回 会議録

1. 日 時 平成28年9月23日（金） 14時30分～16時05分終了

2. 場 所 多目的ルーム2

3. 出席者 立命館大学 特任教授 塚口 博司氏
神前栄自治会長 中澤 芳一氏
野瀬町自治会長 森川 吟英氏
木之本町川合自治会長 山内 昌達氏
長浜市民生委員児童委員協議会 理事 東野 了氏
社会福祉法人長浜市社会福祉協議会 副参事 藤元 法子氏
長浜地区交通安全協会 副会長 國友 隆房氏
伊香交通安全協会 副会長 田中 俊之氏
滋賀県建設業協会長浜支部長 森 善昭氏
滋賀県建設業協会伊香支部長 湯本 聡氏
長浜市都市建設部長 今井 克美氏
長浜市北部振興局長 山田 昌宏氏 以上12名
（その他 事務局7名）

4. 欠席者 無し

5. 傍聴者 1名

6. 取 材 2社

7. 内 容

(1) 開会のあいさつ

今井都市建設部長より開会の挨拶を行った。

(2) 委員自己紹介

各委員より自己紹介を行った。

その他事務局員紹介を行った。

(3) あり方懇話会の設置、および座長の選出について

長浜市雪寒体制のあり方懇話会（以下「あり方懇話会」という。）の設置およびあり方懇話会設置要領について事務局説明を行った。

その上で、あり方懇話会設置要領第4条第1項に基づき座長の選出

を行った。その結果、立命館大学 特任教授 塚口 博司氏（学識経験者）が座長に選出された。

（４）会議の公開について

協議の結果、会議を公開することが決定された。

取材の報道機関２社、傍聴者１名が会場へ入場した。

（５）長浜市雪寒体制のあり方懇話会の活動について

（６）長浜市の概況及び雪寒体制の概況について

事務局上記（５）および（６）について事務局説明を行った。

質疑等については以下のとおり

【委員】 資料内表中、市道延長の内訳について教えてほしい。

（事務局） 長浜地区を例に挙げて説明すると、市道延長（実延長ベース）の合計が３６３．４ｋｍで、その内、除雪路線としているのが２０９．８ｋｍで、直営／委託の別が、それぞれ５５．６ｋｍ／１５４．２ｋｍとなっている。また、２０９．８ｋｍの内、国の雪寒指定路線となっているのが７５．５ｋｍ、市が単独で除雪路線に指定しているのが１３４．３ｋｍとなっている。

【委員】 地域除雪作業委託補助金の対象路線については市道のみか。

（事務局） 対象路線については市道だけでなく、一定の条件下において里道（法定外公共物）等についても対象としている。

【委員】 地域除雪作業委託補助金について、その委託手法は業者委託に限られるのか。それとも、自治会内で機械を手配し、そのオペレータを自治会員で行う場合においても補助の対象となるのか。

（事務局） どちらの場合も補助の対象としている。

【委員】 資料内表中、除雪路線の延長について、除雪路線に認定されていない市道については、除雪を行っていないということか。

（事務局） お見込みのとおり。

除雪路線に認定されていない市道について、自治会において除雪作業が行われている箇所もある。

【委員】 平成２７年度の各地区の積雪量などがまとめられた資料がほしい。

また、屋根の雪下ろしで落下する人が年に何人かはいる。今後、道路河川課としては、屋根の雪下ろしについてどのように考えていく

のか。

(事務局) 屋根の雪下ろしの補助については、社会福祉協議会で実施されており、その実態については社会福祉協議会の方で把握されていると考えている。

しかしながら、このあり方懇話会の場においても、検討すべき材料となってきた場合は、議題として取り上げることも有り得る。

【委員】 第1・2・3次の除雪体制について、直営路線・委託路線共に、同じ基準で出動されると考えてよろしいか。

(事務局) お見込みのとおり。

【座長】 本質疑について、資料内に『同じ基準で出動する』との一文を入れておいてはどうか。

(事務局) 追記する。

(7) GPSを用いた除雪車両管理システムについて

事務局上記(7)について事務局説明を行った(試行サイトにてデモンストレーションを行う。)

質疑等については以下のとおり

【座長】 資料および次第において『除雪車両管理システム(GPS)について』とあるが、これはGPSを用いたシステムであることから、資料および次第のタイトルも『GPSを用いた除雪車両管理システムについて』の方が表現として相応しいのではないかと。

(事務局) そのように修正させていただく。

【座長】 効果的な作業手順を検討する機会となり得ると考える。

路線を分析することで『一筆書き』にできる路線は無いかなど、そういった分析を行ってほしい。

(事務局) わかりました。

【委員】 システムで管理する時代になっていることから、除雪作業においても、このような管理システムを導入するのは時流に沿ったものと思う。

その上で、土木業界もオペレータの高齢化等の問題を抱えており、やはり若いオペレータと高齢なオペレータでは作業効率がどうしても違ってくる。

そういった点についても、考慮いただきたい。

【座 長】 管理システムより得られた軌道データを分析するということだが、管理システム業者、またデータの分析業者共に上手く契約を行わないと、莫大な費用を請求される場合もあることから注意されたい。

(事務局) わかりました。

【委 員】 除雪機械へのGPS端末の設置は誰が行うのか。また、その費用負担は誰が行うのか。

また、GPSについての議事については第1回目しか予定されていないのか。

(事務局) 端末の設置、およびその費用負担についても長浜市が行う。

また、GPSの議事についても、12月から本格稼働が行われることから、折を見て、委員の皆様にご報告させていただきたいと考えている。

【委 員】 自治会は市の除雪路線を把握していないように思う。

公開した方がよいのではないか。その方が苦情も減るように思う。

(事務局) 検討させていただく。

【委 員】 効率性を追求するあまり、いわゆる『田舎』の生活道路が除雪路線から外れてしまうことを危惧している。

要望路線(どこを除雪してほしい等)の集計等はされていないのか。それを集計することで、苦情が減った等もわかるのでは。

【座 長】 アウトカム指標を取り入れ、市民生活がどれだけ安全で便利になったかの検証を行ってはどうか？

(事務局) 検討させていただく。

(8) その他

事務局より、次回のあり方懇話会を12月上旬に予定していること、予定している議題について周知を行った。

各委員より出された意見については以下のとおり。

【座 長】 管理者別の道路区分にとらわれず『道路としての機能』を元に考えるという視点が必要である。

【委員】 資料にはページ数を入れてほしい。

【委員】 日程が決まったら、1か月ほど前には通知してほしい。

以上

(終了：16時05分)